

KANA GAWA ARTS PRESS

8 & 9 2013

神奈川芸術プレス Vol.113

福井 敬

CREATOR'S
VOICE 132

CREATOR'S VOICE 132

福井 敬

神奈川県民ホール 共同制作
『ワルキューレ』に主演

第20回神奈川国際芸術フェスティバル「音楽 — その先へ」

街道でたどるエリア紹介 ～横須賀・三浦エリア～

一緒に。～『クラシックな休日を♪ in 音楽堂』～

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行【隔月刊】

歌を聴いて、舞台を観て、
何か感じていただいた時が、
私にとっては一番幸せな時です。



ワーグナーの想いを感じながら、歌う

——今年はオペラ作曲家、ヴェルディとワーグナーの生誕200年。どちらもお得意の福井さんは、大変な忙しさですね。

いつもその時にいただいた役を、一生懸命やっただけです。オペラが大好きなので、好きなものをずっとやらせていただけて、幸せです。でも、オペラはチームワーク。膨大な数の人が支えてくれるからこそ、私たちは舞台に立つことができる。みんなで創り上げていくところがオペラの魅力ですね。

——ワーグナーは『ローエングリン』、『リエンツィ』、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』（ヴァルター役）、『タンホイザー』に続いて、『パルジファル』も昨年演じられました。今回はいよいよジークムント役です。

ワーグナーはテノールにとって負担のかかる音楽。ジークムントも何度かお話をいただきましたが、ようやく何とか手がかりそうなところまで来たかなと。ありがたいことに、ローエングリンもヴァルターもリリックな役で、その時々自分の声に合った時期に歌うことができたと思っています。初めて歌ったローエングリン役は、ピアノシモの美しさに魅了されました。ワーグナーとのいい出逢いがあったと思います。昨年の神奈川県民ホールでの共同制作オペラ『タンホイザー』もいい経験になりました。

——ジークムントの役柄についてはどう思われますか？

この役はテノールの音域としてはわりと低いんです。ほ

とんどバリトンの音域で、ところどころに密度の濃いハイノート（高音）が出てくる。イタリア・オペラのようにある程度高音を保つほうが喉にとっては自然で、中間の音域で説得力ある厚みのある声（^{ゆえん}）をホールに届けなければいけないところが、大変な役といわれる所以です。歌っている時間はそう長くはないのですが、1幕はほぼ出づばりで内容がとても濃い。どこも集中しないといけない場面ばかりで、どうテンションを高く保つことができるかが課題です。

——生き別れた妹に出逢って、突然燃え上がる恋。しかも禁断の恋です。

二人は本当に兄妹なのか、ヴォータンは父なのかどうか。いろんな解釈ができて、そこに謎があるから面白い。ジークムントを演じる時、どんな人間として演じたいのか悩みます。半分神かもしれないし。そんな彼が実の妹のジークリンデと出逢い、愛した時に、初めて人間らしさが出てくるのかもしれませんが。見てくださるお客様に、その瞬間を感じていただける演唱ができれば、と考えています。

——ワーグナー作品の魅力は？

ワーグナーは自分のオペラに自分自身を投影している部分が多い。ジークムント役にも、それまで周囲の理解が得られず、政治的には亡命せざるを得なかったワーグナーの想いが込められているのではないかと思います。ジークムントが、自分の身の上をたんとと語る場面があるんですが、そこに人間の深部があぶり出される。一人で語る部分はドラマが動くわけではないけれど、こういうところが面白いですね。ワーグナーがどういう想いで作曲しているのか興味がありますし、歌う時はいつも、彼自身

の想いを感じながら歌っています。

——『ワルキューレ』の指揮は沼尻竜典さん。福井さんからご覧になったマエストロは？

年齢はほぼ変わらないんですが、彼ははっきりいって天才です。彼のなかには常人の私などとは全く違う世界観があって、それがとても魅力的です。つぎにどんな音楽を見せてくれるかワクワクします。私たちはマエストロが要求する音楽を、体を使って表現するわけですが、それが今度はどうなるのか本当に楽しみです。

稽古で気を抜かない。 稽古の積み重ねこそが、本番を成功させる秘訣

——人間的なものを表現するのがお好きなのでしょうか？

オペラでは、王子様よりはどろどろしたものを演じる方が自分としては歌いがいいがあります。ヴェルディ作曲『オテロ』とかツェムリンスキー作曲『こびと』など、人間ドラマがある方が面白いですね。オペラって、そういう人間の業のようなものを、はっきり見せてくれるところがありますよね。だからそのドラマに入り込んでいけるよう、常に考えています。ただ役に深く入りすぎるのも難しい。入り込んでいる自分と外から見ている自分と、両方いないと。でもいろいろな役柄を演じることによって、疑似ですが様々な人生を体験できる。それがオペラを歌う私たちの特権ではないかと思っています。

——ワーグナーは演奏時間が長いですが、スタミナを持続する特別な秘訣はあるのでしょうか？

第20回神奈川県国際芸術フェスティバル
神奈川県民ホール・びわ湖ホール・東京二期会・
神奈川県フィルハーモニー管弦楽団・日本センチュリー交響楽団
共同制作公演

ワーグナー生誕200年記念
『ワルキューレ』全3幕

(新制作/ドイツ語上演・日本語字幕付)

9月14日(土)・15日(日)

各日14:00開演(18:45終演予定)

神奈川県民ホール・大ホール

指揮:沼尻竜典 演出:ジョエル・ローウェルス

管弦楽:神奈川県フィルハーモニー管弦楽団&

日本センチュリー交響楽団による合同オーケストラ



出演	9月14日(土)	9月15日(日)
ジークムント	福井敬	望月哲也
フンディング	斉木健詞	山下浩司
ヴォータン	青山貴	グリア・グリムスレイ
ジークリンデ	大村博美	橋爪ゆか
ブリュンヒルデ	横山恵子	エヴァ・ヨハンソン
フリッカ	小山由美	加納悦子

(あらすじ)

「ニーベルングの指環」四部作で2番目に上演され、「冬の嵐は過ぎ去り」「ワルキューレの騎行」など単独で演奏される有名曲も多い。生き別れていた双子の兄妹ジークムントとジークリンデが、森で出会い恋に落ちる。その後、二人の父である神々の長ヴォータンはジークムントの危機の際、息子を見殺しにする。兄妹を守ろうとしたヴォータンの愛娘で女戦士「ワルキューレ」の一人であるブリュンヒルデは、父に背いた罰として炎に囲まれた山頂に眠らされる。

*やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。

インターネット予約
(24時間対応)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>
チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時)

神奈川県芸術プレス WEB版 取材時の様子やこぼれ話が読める!
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/artspress/>

神奈川県民ホール 共同制作『ワルキューレ』に主演

ロドルフォ役(ブッチャーニ作曲『ラ・ボエーム』)で鮮烈なデビューを飾って以来、
20年にわたり日本オペラ界のトップ・テナーとして独走し続けてきた福井敬。
独・伊・仏など全オペラ・ジャンルを得意とする彼が、いままさに、“満を持して”挑むのが、
ワーグナー作曲『ワルキューレ』の孤独な勇者ジークムント役だ。
その役にかける強い想いと抱負をうかがった。

声のスタミナも大事ですが、それより、テンションを維持するとか、気を保つ方が大変です。私たちはお客様に、気を伝えているのだと思う。自分の中に取り入れた気を。気というのは精神力なのか集中力なのか。それを高めるために、稽古の時も気を抜かないようにしています。ジークムントにはドミンゴからカウフマン等、超人的で華々しいイメージがあるかもしれませんが、オペラ歌手は体が楽器でアスリートと同じだと私は常々考えています。プロの音楽家としてお客様に満足していただける演奏を続けるためには、日々の積み重ねが肝心なのです。「稽古より本番がうまくいくことは、まず100パーセントない。積み重ねてきたもの以上には絶対にならない」。それくらいのつもりで必死に稽古に臨み、本番へ向けどこまで自分を高められるか。鍛錬なくして、まぐれのように絶好調の波が本番に来ることなどはありえない。そうした覚悟を持って今回この素晴らしい役に対峙しています。

お客様に、何か感じていただいた時が一番幸せな時

——ロドルフォ役から、オテロやワーグナーなども歌われます。声の質はどう変化したのでしょうか?

生身の人間なので、声は年齢により変わってきます。若さのみで歌っていたものが、年月を経て、テクニックと積み重ねてきた経験で乗り越えられるようになる。声の質というより、自分自身が経てきた年月の分だけ、逆に声の深みとか年輪、シワが加わってくる。同じ曲を歌っても音楽的なアプローチがどんどん変わってきます。

——最近日本語の歌にも積極的です。

日本人として自国の歌をうたうのは使命というか当然のこと。日本語を表現することを、この年齢になってやっと掴み始めたところです。2年前、日本歌曲を集めたCDを出したのですが、その1カ月後に東日本大震災が起きた。私も岩手県で高校までを過ごしましたので、日本人の心に沿う音楽を歌いたいという想いが強くなりました。お客様の反応もいままでとは違うと感じます。お客様の言葉というのは、一番うれしい。歌をきいて、舞台を見て、何か感じていただいた時が、私にとっては一番幸せな時です。

取材・文:石戸谷結子/撮影:福里幸夫

わたしの神奈川県
神奈川県民ホールは第二のホームグラウンド

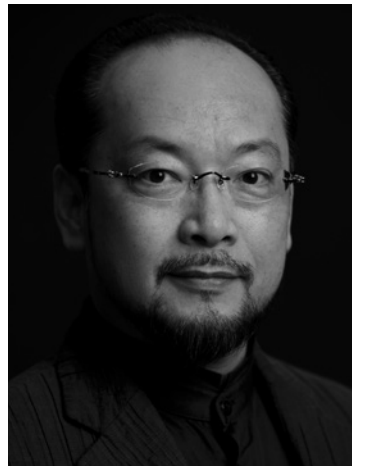
私は結婚して以来23年ずっと川崎に住んでいます、現在は神奈川県人です。神奈川県は住みやすいし、文化的にも豊かで、地に足をつけて生活していらっしゃる方が多い。町工場を守っている方もいるし、地元の商店街で頑張っている方、造園や農業等でも土地に根づいた暮らしをしている方もいます。同時に若いエネルギーもあるし、様々な要素がいいマッチング感覚で共存している場所だと思います。

——神奈川県民ホールとの関わりは?

コンサートではデビューしてすぐ、このホールで歌いました。神奈川県民ホールともよく共演させていただいています。オペラでは県民ホール・びわ湖ホールとの共同制作に何作も出させていただき、まさに第二のホームグラウンドという感じです。

福井敬

オペラ歌手



ふくい けい (テノール)

岩手県出身。国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁芸術家在外研修員等でイタリアに学んだ。イタリア声楽コンクールでミラノ大賞(第1位)、芸術選奨文部大臣賞新人賞、出光音楽賞他、多数受賞。

1992年二期会「ラ・ボエーム」ロドルフォ役の鮮烈デビューの後、新国立劇場開場記念『ローエングリン』(97年)ではタイトル・ロールに抜擢されるなど、輝かしい声、幅広い表現かつ情感溢れる演技で、聴衆を魅了している。神奈川県民ホール・びわ湖ホール等による共同制作オペラでは、『トゥーランドット』(2009年)、『アイダ』(11年)、『タンホイザー』(12年)、『精姫』(13年)に出演。

13年7~8月東京二期会「ホフマン物語」、14年2月同「ドン・カルロ」に主演する。

CD「君を愛す」、松本隆プロデュース「美しき水車小屋の娘」、「愛は力」、「悲しくなったときは」/福井敬 日本を歌う。」をリリース。

国立音楽大学准教授 二期会会員

福井敬.net <http://www.fukuikei.net/>

記念イヤーにワーグナーの大作 『ワルキューレ』

9月中旬から11月末までを会期として行われる今年のフェスティバルは、クラシック音楽や舞台芸術のファンならもちろん、新しいアートに触れて視界を広げたいという好奇心でいっぱいの方にもアピール。神奈川ならではの感性が光る公演たちが、常に時代の先端へとアクセスしていく。好きなジャンルは言うまでもなく、以前より興味をもっていた新しい世界へと足を踏み入れるチャンスでもあるだろう。

最初にご紹介するのは、今年(2013年)が記念すべき生誕200年であり、世界各地でオペラ公演やコンサートが行われている作曲家、リヒャルト・ワーグナーの作品。上演に4晩を要する壮大な『ニーベルングの指環』の第1日(2番目の作品)、神々と人間を支配する運命の歯車が回り出して緊迫感が増してくる『ワルキューレ』の上演だ。毎年、その成果が高く評価されている、神奈川県民ホールと関西のびわ湖ホール等の共同制作オペラは、歌や演奏、演出や舞台美術など多分野において注目され、オペラ・ファンに強いインパクトを与えている。おなじみとなった沼尻竜典の指揮、福井敬や望月哲也ほかの精鋭歌手陣が揃い(ダブルキャスト)、アニバーサリー・イヤーにおける革新的な名演になるだろう。『ワルキューレの騎行』『魔の炎の音楽』といった名場面・名曲も含む人気の作品だけに、ワーグナー・ファンはもちろん、これを機会に奥深いワーグナーの世界へ飛び込んでみようという方にもおすすめできる。

フィンランド、日本のユニークなアンサンブル登場 ~Avanti! 室内アンサンブル、渋谷知らズ大オーケストラ

●Avanti! 室内アンサンブル

フィンランドから来日し、先鋭的な演奏を聴かせてくれる室内アンサンブル「Avanti!(アヴァンティ!)」(「前進!」という意味のイタリア語)も期待度が高い。25年もの歴史をもつ夏の音楽祭「アヴァンティ!サマー・サウンド・フェスティバル」を牽引してきた彼らは、数多くの名演奏家を輩

出しているフィンランドの中にあつて、新しい時代を開拓するリーダー的な存在。演奏の素晴らしさは言うまでもなく、コンサートのプログラミングにも注目すべきグループなのである。2010年の「サマー・サウンド・フェスティバル」では日本の作品を紹介。一柳慧をはじめとする作曲家たちの意欲的な作品が並び、両国の文化交流となった。コンサートでは、その一柳が書き下ろす委嘱新作の初演やモーツァルトのクラリネット五重奏曲、シベリウスの作品が演奏される予定。今回の来日公演は「神奈川国際芸術フェスティバル」ほか数カ所のみであるため、彼らの演奏に触れる貴重なチャンスとなるだろう。

●渋谷知らズ大オーケストラ

ジャズ・オーケストラという「器」でありながら、そこへジャズだけではなくロック、クラシック、歌謡曲、各種ワールド・ミュージックなどを次々に放り込み、強力なミキサーで攪拌した音楽。渋谷知らズという変幻自在なエンタテインメント集団は、知れば知るほど奥深く、ひと言でその魅力が表現できないというグループだ。異世界のキャバレーへ乱入したかのようなステージを体験して、ハマってしまった人は多数。異文化交流の地・横浜に降臨するのは運命的かもしれない。今回は「渋谷知らズ大オーケストラ」の名にふさわしい数百人規模の編成でフェスティバルに登場。豪華ゲストミュージシャンなどを迎えたKAAT神奈川芸術劇場でのライブは、劇場の空間を生かしたスペシャル・ステージを作り上げて行われるようだ。その舞台セットは一般公募。さらに演奏や白塗りパフォーマンスなどのワークショップと、その成果を披露するため横浜の街を練り歩くという仰天プランもある。みんなで盛り上げよう!という「渋谷流」の祝祭ライブは、「見ているだけじゃつまらない」という参加意識もツツツと刺激して、秋の訪れと共に横浜に一大旋風を巻き起こすはずだ。

木のホールで味わう雅楽

こうしたコンサートの中で、ひときわ異彩を放っているのが雅楽の公演。しかし「音楽堂で聴く雅楽」は、神奈川県

立音楽堂が新しい時代の雅楽コンサートや作品などを提唱するシリーズであり、伝統芸能がより身近に感じられると好評の人気公演だ。今回演奏される曲は、まるで陰陽師おんみょうじの活躍する世界へアクセスするような古典の名作と、このシリーズによる委嘱作品(再演)ほか。石井眞木作曲の「飛天生動」は題名の通り、まるで天女が空を舞うような音型が演奏されるなど、伝統の殻を破った雅楽の姿が軽やかに立ち現れて響く。箜篌(くご)という古代のハーブを思わせる楽器などを演奏し、21世紀の雅楽を創造している佐々木冬彦作曲の「華の宴」は、2011年にKAATのオープンを記念して委嘱・初演された縁のある作品。今回の再演では新たに舞も加わり、祝祭的な雰囲気の中で東京楽所が演奏を披露する。雅楽を初めて見る(聴く)という方でも、多彩な季節感を調律するかのようなその響きや、目にも鮮やかな美しい装束、そして華道家の假屋崎省吾によるステージ上の「花」などが、耳と目を大いに楽しませてくれるだろう。落ち着いた木の内装による県立音楽堂だからこそ、雅な遊びとも言える雅楽の魅力が味わえるに違いない。

「ジゼル」 「ファンタスティック・ガラコンサート」 など

このほかにも、上野水香の主演で物語を紡ぐバレエ「ジゼル」の公演は、東京バレエ団による繊細な美しさにあふれたステージ。また、日本各地の教会やコンサートホールでオルガンを演奏し、創設期からパツハ・コレギウム・ジャンのメンバーとして演奏をしてきた今井奈緒子が、神奈川県民ホール(小ホール)のドイツ製パイプオルガンを演奏するリサイタルもある。オーケストラと歌手、バレエ・ダンサーたちが集って華麗なステージを繰り広げる「ファンタスティック・ガラコンサート」は、土曜日の午後とあってファミリーでも楽しめるだろう。

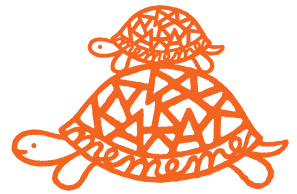
なおフェスティバルの各公演は、9月から11月まで、約150ものコンサートが行われる『横浜音楽祭2013』(通称「ヨコオト」)にも参加する。街と音楽、両方の魅力を味わえる2カ月間になるはずだ。

第20回 神奈川国際芸術フェスティバル 「音楽 — その先へ」

記念すべき20回目を迎える「神奈川国際芸術フェスティバル」は、今年もオペラ、バレエ、コンサート、雅楽など、多彩なラインナップで開催される。神奈川県民ホールは大規模な改修工事に入るため、今回のフェスティバルを終えると約10か月間の休館へ。秋の横浜に大きな芸術の花火が打ち上がる。

インターネット予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>
チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時)

※無料公演のお問合せは各施設まで。



第20回神奈川国際芸術フェスティバル 「音楽—その先へ」

2013.9→11

芸術総監督…一柳慧 KAAT芸術監督…宮本亜門

開催日	公演名	会場
9月14日(土) 15日(日)	ワーグナー作曲 「ワルキューレ」全3幕	県民ホール 大ホール
10月5日(土)	Avanti! 室内アンサンブル	県民ホール 小ホール
10月5日(土) 6日(日)	洗ざ知らズ 大オーケストラ	KAAT 神奈川芸術劇場 ホール
10月12日(土)	音楽堂で聴く雅楽	県立音楽堂
10月19日(土)	東京バレエ団「ジゼル」 全2幕	県民ホール 大ホール
11月23日(土・祝)	今井奈緒子 パイプオルガン リサイタル	県民ホール 小ホール
11月30日(土)	ファンタスティック・ ガラコンサート2013	県民ホール 大ホール
11月予定	フェスティバル シンポジウム (詳細未定)	—

主催：神奈川県民ホール
KAAT神奈川芸術劇場
神奈川県立音楽堂
(公益財団法人神奈川芸術文化財団)

特設ホームページ

URL <http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>

第20回神奈川国際芸術フェスティバル 記者会見 共同制作「ワルキューレ」 制作発表

6月中旬、神奈川国際芸術フェスティバルと、共同制作「ワルキューレ」(神奈川県民ホール)について会見が行われた。

最初に神奈川芸術文化財団の芸術総監督である一柳慧が、フェスティバルのテーマ「音楽—その先へ」を発表。東京バレエ団「ジゼル」で主役を踊る上野水香は「現実の女性から精霊となっても、一貫して一人の男性を愛しつづける様を演じたい」と意欲を語った。また「音楽堂で聴く雅楽」において自らの作曲作品を演奏する佐々木冬彦は「平安時代以降に洗練を重ねてきた雅楽を、日本へ伝来した時代へ原点帰還させたい」と語り、古代のハーブと言えりる箏篋の実演も披露した。

続けて、『ワルキューレ』の制作発表では、指揮者の沼尻竜典が、歌手や音楽家の力を存分に発揮できる最高級の上演になることを約束。歌手の横山恵子、望月哲也も名作に挑戦する意気込みを語り、演出のジョエル・ローウェルスは「好奇心と作品に対するオープンな気持ちを胸に公演へ足を運んで欲しい」とビデオ・メッセージを寄せた。

取材・文 オヤマダアツシ



撮影ヒダキトモコ

神奈川 まちのプロデューサー ②

横浜みなとみらいホール館長
池辺晋一郎氏

今年9～11月、神奈川国際芸術フェスティバルの公演も参加する「横浜音祭り2013」が開催されます。そのメイン会場「横浜みなとみらいホール」の館長であり、数々の演奏会プロデュースを手掛けられる作曲家、池辺晋一郎氏にご登場をお願いしました。

僕は、横浜、神戸、長崎と「港町」に仕事の縁が多いのですが、「港町」には共通したキャラクターを感じます。外界に開かれた意識、新しいものへの好奇心が強い。やはり海という、外の世界とつながっているものを毎日目にしていれば、おのずと心が旅するものなのでしょう。横浜みなとみらいホールもいろいろな船が入り出する港のように、常に外とのパイプを持ち続けるホールであってほしいと、ずっと願ってきました。実際、指揮者のパーヴォ・ヤルヴィはこのホールを「日本でのフランチャイズ」と言ってはばからないほどですし、ヴァイオリニストのヒラリー・ハーンも頻りに訪れてくれます。より身近にオペラを楽しんでいただく「小ホー

ル・オペラシリーズ」などの成果で、「市民に開かれたホール」という理想に近づいている感触もあります。

この秋、みなとみらい地区の他、横浜市内各所で行われる「横浜音祭り2013」も、理想を実現させるためのプロジェクトです。横浜市と神奈川県が共に手を携えて、ひとつのイベントに取り組むことができるのが、横浜らしいすばらしさだと思います。

茨城県の水戸に生まれ、東京育ちの僕にとって、仕事の縁ができるまで、横浜は「近くて遠い」ところでした。運命の糸で結ばれていたんだなあと思うのは、はるか昔、新婚旅行で横浜に来ているんですよ。次の年にヨーロッパ旅行に出かける前にちょっとどこかに行こうと、「近いのによく知らない」横浜を選んで、ホテルニューグランドに2泊したんです。学生時代からよく聴きに来ていた県立音楽堂にも懐かしい思い出が詰まっています。これだけ多彩なホール、劇場があるので、お互いに刺激を与えあって、横浜の文化を賑やかにしていけるといいですね。



第(20)回 神奈川国際芸術 フェスティバル 音楽—その先へ

2013.9→11 芸術総監督—一柳慧
KAAT芸術監督—宮本亜門

9月14日(土)・15日(日) ワーグナー作曲「ワルキューレ」全3幕
10月5日(土) Avanti!室内アンサンブル全日公演
10月5日(土)・6日(日) 洗ざ知らズ大オーケストラ
10月12日(土) 音楽堂で聴く雅楽
10月19日(土) 東京バレエ団「ジゼル」全2幕
11月23日(土・祝) 今井奈緒子パイプオルガンリサイタル
11月30日(土) ファンタスティック・ガラコンサート2013
11月予定 フェスティバルシンポジウム(詳細未定)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>

主催：神奈川県民ホール KAAT神奈川芸術劇場 神奈川県立音楽堂
(公益財団法人神奈川芸術文化財団)

チケットお問い合わせ

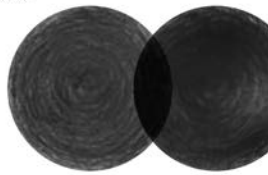
チケットの問い合わせ先 Tel.046-662-8066(10時～19時、無料)

インターネット予約(公営指定席) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/ticket/>

KAAT(公益財団法人)の登録商標です

最新情報の無料メルマガ配信、インターネットチケット予約、チケットの問い合わせページから登録ください。

International Arts Festival In Kanagawa



Avanti! 室内アンサンブル(県民ホール) カリ・クリック(クラリネット) ©Marco Borggreve



洗ざ知らズ大オーケストラ(KAAT) ©山下恭弘



音楽堂で聴く雅楽(音楽堂) ©青柳聡



街道でたどるエリア紹介

横須賀・三浦 [浦賀道・三崎道編]



1846(弘化3)年 浦賀沖海岸警備絵図(浦賀湾の部分) 横浜市歴史博物館蔵

街道でたどるエリア紹介・第2回は、浦賀道・三崎道の通る「横須賀・三浦エリア」です。東京湾の入り口にあたる三浦半島東岸の浦賀は、風除けとなる小高い丘陵に囲まれ、細長い入江を持つ良港で、江戸へ入る船の荷物を検査する浦賀奉行所が置かれたり、様々な商人が集まる、海運の拠点として賑わっていました。

こうした浦賀へ陸路で行く道が浦賀道で、半島の西側(相模湾沿い)と東側(東京湾沿い)を通る2本のルートがありました。

また、半島の先端にあり外海への見通しが良く三崎の地も海上交通の要所であり、浦賀道を経て同地へと向かう三崎道も半島の両側に存在していました。

監修：齊藤 司(横浜市歴史博物館)

1 ペリー公園

160年前のペリー上陸を記念する公園。ペリー上陸記念碑、ペリー記念館があります。
ペリー上陸記念碑 ペリー上陸を記念して、1901(明治34)年に米友協会が建立した記念碑です。碑文の「北米合衆国水師提督伯理上陸記念碑」は伊藤博文の筆によるもの。
ペリー記念館 ペリー上陸直前を描いた絵巻物や黒船の概要を描写した古書など、当時の様子を伝える貴重な資料等を展示しています。開館：9:00~16:30(入館は16:00まで)
 休館：月曜日(休日の場合翌日) 入場無料 お問い合わせ：☎046-834-7531

2 よこすか芸術劇場

8月4日(日) 12:30/15:30 東京バレエ団 子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」
 S5,000円 A4,000円 子どもは各半額
 9月21日(土) 15:00 サントリーホール オペラ・アカデミー公演 モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」
 (全2幕、原語上演/セミ・ステージ形式) S5,000円 A4,000円
 9月28日(土) 15:00 横須賀芸術劇場リサイタル・シリーズ35 三浦文彰ヴァイオリン・リサイタル
 S3,500円 A2,500円 お問い合わせ：☎046-823-9999

3 神奈川県立近代美術館 葉山

開催中~10月14日(月・祝)「戦争/美術 1940-1950 モダニズムの連鎖と変容」
 1940年代の日本は、戦争という非常に困難な時代でありながらも、モダニズムの成熟と転換という豊かな可能性を秘めた時代でもありました。本展はこれまで戦前、戦後と分断されてきた日本の美術史を1940年代という時間の経過で捉え、新たな文脈でとらえ直すものです。
 開館：9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館：月曜日(祝日は開館) 一般1,000円、
 20歳未満・学生850円、65歳以上500円、高校生100円 お問い合わせ：☎046-875-2800

4 返子文化プラザホール

555席のなぎさホール、約160席のさざなみホールで各種公演やワークショップの他、ギャラリーで展示会が行われています。
 9月15日(日) 14:00 なぎさホール 第21回返子名人会/長月のらくご
 出演：柳家三三、古今亭文菊 全席指定 一般3,000円、小中学生1,000円 (ユースチケットあり)
 9月27日(金) 19:00、28日(土) 14:00、17:00 さざなみホール
 アンドロイド演劇「さよなら」公演+平田オリザトーク
 全席自由 一般1,000円、高校生以下500円 お問い合わせ：☎046-870-6622

その他の県内文化情報

神奈川県立近代美術館 葉山

フェスタサマーミュージア2013 8月1日(木) 15:00開演
 会場：ミュージアムシンフォニーホール
 指揮：金聖響
 マーラー/交響曲第1番二長調「巨人」(花の章付) 他
 S3,000円 A2,000円
 お問い合わせ：ミュージアムシンフォニーホール ☎044-520-0200

第295回定期演奏会 9月27日(金) 19:00開演
 会場：横浜みなとみらいホール
 指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：石田泰尚 合唱：神奈川県立合唱団
 グラスノフ/ヴァイオリン協奏曲 R.シュトラウス/アルプス交響曲 他
 S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生席(B)1,000円
 お問い合わせ：神奈川県立近代美術館
 ☎045-226-5107(平日10:00~18:00)
<http://www.kanaphil.or.jp/>

県立神奈川近代文学館

企画展『賢治+司修 注文の多い展覧会』
 (同時開催：常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第1部)
 画家・装幀家・小説家として活動する司修の作品の中から、宮沢賢治へのオマージュとして作られた絵本、復興への祈りを込めた原画、CGなどを中心に構成した企画展。技巧をこらした美しい作品とともに、観覧者のためのさまざまな仕掛けも用意した大人も子どもも楽しめる展覧会です。
 8月10日(土)~9月29日(日) 第2展示室
 ※月曜休館(9月16日と23日は開館)
 一般400円 65歳以上・20歳未満・学生200円
 高校生100円 中学生以下無料
 神奈川県横浜市中区山手町110
 (みなとみらい線「元町・中華街駅」6番出口徒歩10分)
 ☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

神奈川県民局くらし県民部文化課

第62回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式
 11月3日(日・祝) 14:30開式 ★2,000名無料招待
 会場：神奈川県民ホール・大ホール
 お申込み：往復ハガキかインターネットで10月4日(金)消印有効
 お申込み・お問合せ：文化課「贈呈式係」
 ☎045-210-3808
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0204/>
 ミュージカル・ワークショップ
 <劇場でミュージカル体験を！>参加者募集
 8月に県内3箇所で開催 10月にKAATで実践篇開催
 参加費：無料 申込締切：8月1日(木)(必着)
 お申込み・お問合せ：
 昭和音楽大学オペラ研究所 ミュージカル・ワークショップ係
 ☎044-953-9858
<http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/musicalws/>

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / 株式会社アサヒファシリテイズ / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 有限会社エス・イー・オー
 株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社
 神谷コーポレーション株式会社 / カヤシステム マシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かかり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社キョウエイ装備 / 株式会社合同通信 / 香山壽夫建築研究所 / コトキシーティング株式会社 / 株式会社さが美
 株式会社ジェイエムアンドカンパニー / 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 財団法人シルクセンター国際貿易観光会館 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ / 生活協同組合ユーコープ / 生活クラブ生活協同組合
 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 株式会社東急エージェンシー / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 奈良建設株式会社 / 株式会社日建設
 日産自動車株式会社 / 日生商工株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニック ESエンジニアリング株式会社 / パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社 / 株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル、ニューグランド
 社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商 / 株式会社ユニコン / 株式会社横浜アーチスト / 横浜エレベーター株式会社
 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 株式会社横浜ステーションビル / 横浜ビルシステム株式会社 永年個人賛助会員 江田真子 / 川村恒明 個人賛助会員 大島正博 / 金子祐子 / 黒瀬博晴 / 本田正男 / 三角京子 / 三角秀行
 協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 音楽堂施設協賛 コトキシーティング株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 株式会社東芝 首都圏南支社 / 株式会社野毛印刷社
 野村證券株式会社横浜支店 / 三菱地所株式会社 (匿名：1社、2名) (2013年6月10日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問い合わせ：公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-3760



ゴールデンウィーク明けの週末、新緑が美しい桜木町・紅葉坂の神奈川県立音楽堂で、藤岡幸夫指揮・東京フィルハーモニー交響楽団、山下洋輔(ピアノ)出演によるコンサートが行われました。お客様の声からも楽しい雰囲気が伝わってきます!

クラシックな休日を♪ in 音楽堂

藤岡幸夫指揮・東京フィルハーモニー交響楽団スペシャル・コンサート
5月11日(土) 15:00開演 神奈川県立音楽堂



大歓声のカーテンコール ©青柳聡

とにかく楽しい演奏会でした。内容が多彩で、特に山下さんのパワフルな演奏は、聴き手も元気にしてくれます。一柳さんが登場してお話してくださったのもよかったです。アンコールも気がきいていました。(60代 男性)

この公演のチケットを購入したときは、精神的に落ち込んでいて、癒されたいと思っていました。本日の演奏が、これからの自分への「はなむけ」になったような気がします。素敵なひとときをありがとうございました。(30代 女性)

山下洋輔氏と一柳慧氏の出会い——
「ジャズ」と「現代音楽」が同時代人として生きている喜びを感じさせてくれました。

藤岡さんの大ファンです。いつもながら素敵でした！
タップ(ダンス)が短く、もっと聴きたかったです。(70代 女性)

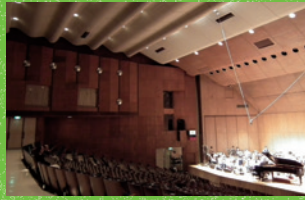
コレナニ?

さてリハーサル中の県立音楽堂で見つけたこの物体、
いったいなんでしょう?



【正解】ブラケット (ホール客席壁面に取り付けられた照明器具)

上演中は円形の淡い光がそと木の壁を照らします。昭和29年の開館時から設置されていたというから、これももうすぐ60歳です。シンバルのようにも見えて、なかなかおしゃれです。恐らくこの建物を設計した前川國男の意匠。音楽堂へ来たときは、建築や意匠も要チェック。ホワイエ階段の手すりが描く優雅な曲線は秀逸です。



もっと、もっとアート。

iSAMU 20世紀を生きた芸術家イサム・ノグチをめぐる3つの物語

宮本亜門が紡ぐ「影響あい、変化するイサム・ノグチの物語」。

8月15日(木)~18日(日)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
S6,800円 A4,500円
原案・演出:宮本亜門
出演:窪塚洋介、美波、
ジュリー・ドレフェス、
小島聖 他



マエストロ聖響の 夏休みオーケストラ!

夏休みは、オーケストラを丸ごと体験しよう!ステージ上で聴くコーナー、楽器体験コーナー、出演者との交流など、楽しい企画が盛りだくさん。

8月17日(土)
神奈川県立音楽堂
全席指定 小学生1,000円
中・高校生1,500円
一般3,500円
指揮:金聖響
ピアノ:外山啓介
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団



パイプオルガン・クリスマスコンサート・シリーズ2013 オルガン&ハーブが奏でる真夏のクリスマス

ひととき暑さを忘れ、厳かなクリスマスの世界へ。

8月24日(土)
神奈川県民ホール・小ホール
全席指定
一般3,000円
ペア(一般2枚)5,500円
学生(24歳以下)2,000円
オルガン:荻野由美子
ハーブ:杉山敦子



第49回神奈川県美術展

県内最大規模の公募美術展。
新進芸術家の登竜門として高く評価されています。

1期展(平面・立体):
9月4日(水)~15日(日)
2期展(工芸・書・写真):
9月18日(水)~29日(日)
神奈川県民ホール・ギャラリー
観覧無料



ハイバイ 「月光のつつしみ」

今年、岸田戯曲賞を受賞した岩井秀人率いる「ハイバイ」がKAATに初登場!

9月20日(金)~26日(木)
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ
指定席及び自由席
前売3,800円~3,000円
当日券は各500円増
作:岩松了 演出:岩井秀人
出演:松井周、能島瑞穂、
上田遥、永井若葉、平原テツ 他



読売日本交響楽団 特別演奏会 《音楽堂で聴くブラームス》

あの詠響が音楽堂でブラームスの交響曲第1番を!
一柳慧と千住明の曲で藤原道山(尺八)との競演も。

9月24日(火)
神奈川県立音楽堂
全席指定 5,000円
学生(24歳以下/限定30席)
2,000円
指揮:下野竜也 尺八:藤原道山
管弦楽:読売日本交響楽団



チケットのお求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00~18:00)
(県民ホール窓口10:00~18:00 / 芸術劇場窓口10:00~18:00 / 音楽堂窓口13:00~17:00月休)

編集後記

- 大黒埠頭や本牧埠頭に林立するガントリークレーンを見ると、横浜は貿易都市だと改めて気づきます。先日再訪した神奈川近代文学館の手前の霧笛橋からの景色が、特に社観。(k)
- 人やモノの間を調整して「つなぐ」仕事の重要性を感じます。「コーディネーター」と銘打たずとも、「つなぎ」の名人がいてこそ、名舞台、名企画が実現するのでしょう。(あ)
- 気が早いですが、秋と言えば「芸術の秋」「食欲の秋」。神奈川国際芸術フェスティバルでは芸術で心を満たし、そしてぜひ、横浜中華街では食欲も満たしてください!(ゆ)



KAAT神奈川芸術劇場 ☎045-662-8866 (チケットかながわ) <http://www.kaat.jp/>

親子のためのファミリー・ミュージカル
『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』
8月23日(金)～9月1日(日)
宮本亜門がすべての子どもたちへ贈る楽しいミュージカル!
サーカスの TENT 小屋のようなワクワク感。客席と舞台が一体となった移動型の
“ピノキオ劇場”でお楽しみください。
原作:カルロ・コローディ 作曲・音楽監督:深沢桂子
演出・脚色:宮本亜門 出演:小此木麻里 池田有希子 石鍋多加史 治田敦 他
※9月7日～8日、小田原市生涯学習センターけやきでも上演。



パシフィコ横浜 展示ホールA

☎03-5777-8600 (ハローダイヤル) <http://yuka2013.com/>

特別展マンモス「YUKA(ユカ)」

開催中～9月16日(月・祝)
2010年、シベリアの永久凍土から絶滅した一頭の雌のマンモスが発掘されました。豊かな体毛に覆われ、ほぼ完全な状態で残る3万9000年前のマンモスYUKA(ユカ)を世界に先駆けて一般公開します。
骨格標本や映像を駆使して、マンモスとヒトの生活や絶滅に至った謎、最新のクローン研究の成果も紹介します。



「ユカ」 ©MASAOKI AHIRA

神奈川県立歴史博物館 ☎045-201-0926 / <http://ch.kanagawa-museum.jp/>

『「キングの塔」誕生！—神奈川県庁本庁舎とかながわの近代化遺産—』

7月20日(土)～9月16日(月・祝)
実施設計図や部材などの初公開資料をもとに、「キングの塔」として有名な神奈川県庁本庁舎や県内各地にある近代化遺産について紹介します。
開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館:月曜日(祝日の場合は開館)
観覧料:20歳以上600円、学生・20歳未満400円、高校生・65歳以上100円、中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方無料



早川松山《横浜名所一覽》明治9年



(横浜市在住カメラマン) 森日出夫さんの写真でめぐる「私だけが知ってる横浜」。

横浜情景

朝焼けの光を浴びて立つ「赤灯台」です。横浜港内防波堤の先端に位置し、防波堤と同じ1896(明治29)年に作られた、横浜に現存する最古の灯台です。このあたりは釣りスポットとしても有名で、若いときにはよく遊びに行きました。一緒に建設された「白灯台」は、すでに役割を終えて山下公園の水川丸横に移されていますが、この赤灯台はいまも現役で、港の安全を守り続けています。その歴史的な価値だけでなく、姿がレトロっぽく、情緒があるところが気に入っています。



MAGCUL.NET 神奈川県発、文化発信ポータルサイト。MAGCUL ドット ネット

KAME KANAGAWA members 登録無料! メルマガ定期配信

県内のアート情報はここで探そう!
<http://www.kanagawa-at.info/>
「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

第(20)回 **神奈川国際芸術フェスティバル**
音楽 — その先へ

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-----------------|
| 9月14日(土)・15日(日) | ワーグナー作曲「ワルキューレ」全3幕 | 神奈川県民ホール・大ホール |
| 10月5日(土) | Avanti!室内アンサンブル来日公演 | 神奈川県民ホール・小ホール |
| 10月5日(土)・6日(日) | 渋谷さくら大オーケストラ | KAAT神奈川芸術劇場・ホール |
| 10月12日(土) | 音楽堂で聴く雅楽 | 神奈川県立音楽堂 |
| 10月19日(土) | 東京バレエ団「ジゼル」全2幕 | 神奈川県民ホール・大ホール |
| 11月23日(土・祝) | 今井奈緒子パイプオルガンリサイタル | 神奈川県民ホール・小ホール |
| 11月30日(土) | ファンタスティック・ガラコンサート2013 | 神奈川県民ホール・大ホール |
| 11月予定 | フェスティバルシンポジウム(仮題) | |

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival> 主催 神奈川県民ホール KAAT神奈川芸術劇場 神奈川県立音楽堂 (公益財団法人神奈川芸術文化財団)

